

# 2026年度事業計画

2026年4月 1日から  
2027年3月31日まで

公益財団法人日本バウンドテニス協会

## 2026年度事業計画

### 1. 全日本選手権大会及びブロック選手権大会並びに親善交流大会を開催する事業

#### (1) 競技スポーツとしてのバウンドテニス選手権大会

##### ① 第44回全日本バウンドテニス選手権大会

日 程：2026年7月10日(金)、11日(土)

会 場：東京体育館（東京都渋谷区）

※ 実施要項は別紙①参照

##### ② 第80回国民スポーツ大会

「青の煌めきあおもり国スポ・障スポ」バウンドテニス競技会

日 程：2026年10月3日（土）、4日（日）

会 場：十和田市総合体育センター（青森県十和田市）

※実施要項は別紙②参照

##### ③ ブロックバウンドテニス選手権大会

※日程、開催地は別紙③「年間事業スケジュール」を参照

#### (2) 生涯スポーツとしてのバウンドテニス親善交流大会

##### ① ブロックバウンドテニス親善交流大会

※日程、開催地は別紙③「年間事業スケジュール」を参照

#### (3) 世代別のバウンドテニス大会

##### ① 第29回日本バウンドテニスゴールド和歌山大会

日 程：2026年11月14日(土)、15日(日)

会 場：和歌山県立体育館(和歌山県和歌山市)

##### ② ジュニア大会

ジュニア大会助成策の実施

※実施要項は別紙④参照

### 2. バウンドテニスの指導員、審判員の資格認定試験及び事前講習会を開催する事業

#### (1) 「上級指導員・上級審判員」資格認定試験

① 京都会場 京都市立桃山小学校 9月6日（日）

② 福井会場 福井県中小企業産業大学校体育館 12月20日(日)

③ 東京会場 足立区梅田学習センター 2027年  
2月13日（土）

※ 上記日程の前日に、上級指導員受験者のための事前講習会を開催する予定

(2) 「公益財団法人日本スポーツ協会公認バウンドテニスコーチ1・コーチ2」

資格取得事業

コーチ1は、上級認定試験との共通化を図るとともに、今年度も開催する。  
なお、コーチ2は、希望者がいれば開催する。

東京会場 株式会社ジャクパ体育室（小平市）

日程未定

3. 公認スポーツ指導者養成講習会、指導員育成研修会を開催する事業

(1) 2026年度 指導者講習会（旧指導者研修会）の開催

① 日 程：2026年5月16日（土）、17（日）

② 会 場：ホテルプラザ菜の花（体育館、会議室）

③ 対 象：指導委員会委員

（指導・審判・コーチ・医科学・大会運営・デジタル・アスリート部会委員）

④ 内 容：指導者のスキルアップを図るとともに、指導委員会の部会、プロジェクトチームが主体的に各種事業の運営を行えるようなサポート体制を構築する。

4. バウンドテニスの知識と実技に関する普及活動を行う事業

(1) バウンドテニスに関する情報の発信（バウンドテニスDXプランの実施）

① デジタル技術を活用して業務プロセスを変革し、業務効率化による生産性の向上、顧客満足度の向上を図る。

A) ホームページの全面改装に伴い、各都道府県協会、指導委員会、指導者、バウンドテニス愛好者との連携ページ、一般の方が見て興味を持てるサイトへの再構築を進める。

B) 全日本選手権大会の成績結果即時掲示、6種目の動画ライブ配信を継続して行う。

C) 主催大会のスコア管理から表彰状作成までをデジタル化し運用する。

② バウンドテニス・スキルアップ動画配信

A) 公認指導員資格認定試験の合格率を維持しながら合格水準を上げるため、認定試験評価基準を明確に公表し、認識を深め、指導に自信を持ち、積極的に「指導の場」に立てるよう指導者認定試験の事前学習講座動画を配信する。

B) 普及の場面で重要な役割を果たす指導者に「プレーヤーズ・センタード」の概念を啓発し、コーチングスキルアップと指導法の標準化を図るべく、ガイドラインの動画を制作し発信する。

C) 判定に関するよくあるトラブルの回避方法など、信頼される審判員へのスキルアップを図る動画を制作し配信する。

③ 「三つ折りパンフレット」など普及資材の制作と助成をおこなう。

④ 「ジュニアハンドブック」を安価にて提供するとともに、ホームページ上にも公開する。

⑤ 全日本選手権大会記録DVDの販売をおこなう。

(2) バウンドテニスに係る競技環境の整備

① ジュニア大会、シニア大会開催の環境づくりを強化する。

② 全日本選手権大会2日目シングルのエントリー数を調整し、17:00までに閉会式が終了する改革案について指導委員会大会運営部会を中心に検討する。

(3) 全国普及促進サポート事業

① サークル設立や、資格取得者の増員をめざし、数値目標を設定しているが、本年度もブロック奨励策を一部変更して継続実施し、取り組みの優秀なブロックへの表彰をおこなう。

※実施概要は別紙⑤参照

② 各ブロックと連携し、バウンドテニス体験講習会の開催サポートなど必要な施策を実施する。2026年度は、中国ブロック、東海ブロックとの連携による「バウンドテニス体験講習会」を開催する。

※実施概要は別紙⑥参照

③ ジュニア教室などの運営ガイドラインを作成し必要があれば講師派遣を行い、普及拡大をサポートする。

④ 体験講習会用にラケットおよび簡易コートを出す。

A) 「べんりコート」28セットを希望協会に期間限定で貸与

B) 軽量ラケットBOUND ACE「あそぼう」60本を期間限定で貸与

5. スポーツ団体のガバナンスコード適合性自己説明への取り組み

(1) 昨年度、適合性審査で指摘された、弁護士との顧問契約など改善事項に必要な作業を行う。

以上